

# 山行報告

## 六甲・弓削牧場ハイキング（女性委員会主催）

日 時：10月19日（日） L：待場節子 参加者：9名

参加者：尾内・尾越・金島・北川・砂川（美）・西村（知）・松尾（美）・森永

コース：新神戸駅集合 9：00～桜茶屋 10：00～トエンティクロス分岐 10：40～森林植物園東  
門 11：20～森林植物園 11：30（昼食・ツェルト張り実習） 13：05～谷上駅 14：10

### ★ 六甲・森林植物園ハイク

森永

秋晴れ ヤッホー！！ 近いのにあまり行った事がない六甲山。今回のコースは初めて丁度日曜日でもあり女性会に参加出来た。いつもとは違うほんわかムードの9名 新神戸駅をぬけるといきなり階段が続く。公園でストレッチ、高御位しか参加していない私には階段がこたえる。青息吐息で皆に付いて行く。以前ロープウェーから見た布引の滝、近くで見ればかなり迫力もある。一つだけかと思っていたら又上の方にもあった。

貯水池もありこれは「神戸の市民にも役に立っているのでは」と思った。桜茶屋で10分休憩。ここからは森林の中をウォーキング金島さんが「この道好きや」「うん、なるほど、なるほどとても気持ちがいい」市ヶ原 トエンティクロスすれ違う人も比較的少なく色々おしゃべりをして歩いた。少し急な道を登ればそこは、ハイカー



の為の入り口、シアトルの森へ上がりカナダかえでが色付き落葉も赤くカナダの国（まだ行った事がない）気分、お弁当を開き皆のモチよりパーティー おつけもの りんごにかき 手作りのクッキー ケーキ etc…、ティータイム。西村さんが昨日覚えてきたツェルトの講習会を開かれた。木と木の間でロープでツェルトをはる訓練、ストックを使ってはる訓練、これは、ストックにツェルトをロープで結ぶ時の結び方を教わる。金島さんに大峰山で本当にツェルトを使った時の体験談を聞かせてもらった。それからシュリングの結び方 カラビナと細びきを作って身の確保の仕方、これは、裏剣で使ったとか、見てもわからないが、手に取ってロープを結ぶとよくわかった。とても有意義な講習会になった。



1時45分長谷池の周りを通って、森林公園を後にし山田道へ、これもウォーキングコース 今回は、モチよりパーティーもしたし、弓削牧場でティータイムはもたず、谷上駅へ 丁度予定時間15：00に着き、ホームでそれぞれの行先別に別れた。いつもとは、どこか違う山登り。 楽しかった・・・(^\_^)

## 御津アルプス縦走（播磨地区山岳会 交流山行） 総括責任者：砂川(延)

日時：10月26日（日） 参加者数：28名

参加者：A班 L：今山 SL：松尾

阿蘇・荒木・河合（信）・北川・高橋・竹内・西村（義）・西村（知）・丸岡・三木

B班 L：山本(正一) SL：渡邊(俊)

内海・金島・切貫・須増・砂川（美）・中嶋・西村（寿）・長谷川（孝）・長谷川（易）・藤田・巻薫・待場・森永

コース：高砂市運動公園 7：35～岩見登山口 8：35～Y山 9：00（小休止） 9：10～

Z山登山口 9：50～Z山頂上 10：00～眺め岩 10：25～嫦娥山（一度目の通過） 10：45～

ルート間違いに気付き進行停止 11：15～ルートを引き返す 11：35～

嫦娥山（二度目の通過） 11：55～鳩ヶ峰 12：15～室津街道 12：20（休憩・昼食）

12：40～雄鷹台山 13：15～下山 14：23～バス乗車 14：35～室津漁港『魚魚屋』着 14：45～

交流集会 15：25～16：00 室津漁港出発 17：00～高砂市運動公園 17：57

### ★ 御津アルプス縦走に参加して

### 丸岡

本会に入会し、大江山に続く2回目の山行として、参加させていただいた。私にとっては初めての御津アルプスだったので、雨に降られながらも瀬戸内のすばらしい眺めを満喫しながら、室津の歴史やたくさんの方々の山岳会の方々とふれあうことができた、とても楽しくて充実した山行となった。今回のコースは、岩見登山口から、Y山～Z山～じょう峨山～鳩ヶ峰～雄鷹台山～四叉路～大浦登山口と歩き、室津漁港へバスで移動して、交流集会に参加するというものだった。

8時30分、岩見登山口から登り始めた最初の山は、おもしろい名前の山だなあと考えていたY山。そして、続いてZ山。Z山山頂からの眺望に思わずみんなで感嘆の声をもらした。A班そろっての記念撮影もバッチリ。山頂に掲げられた、「ジェット山山頂」という看板には、「Z」の発音のおもしろさを感じた。その後、海を眺めながら嫦娥山に向かった。木立の中に、見失いそうな「嫦娥山山頂」の小さな看板を見てから、鳩ヶ峰へと向かった。途中で、反対方向から来られた、後に交流会で活動を共にする山岳会のみなさんと出会った。そして、ついに街道に出た。

「室津街道」と書かれた標識の前で、あまりゆっくりとはできない昼食をとった。そして、午後の部開始。街道とは別れ、雄鷹台山をめざしてまた登り始めた。午後からは晴れるという天気予報にも裏切られながら、御津アルプス最高峰の雄鷹台山に到着。高さは310.6m。播磨アルプス最高峰の高御位山とも背比べできそうだ。

山頂は木立の中だが、進むにつれ、また瀬戸内の景色が開けてきた。岩見漁港にかわって、今度は室津の漁港が見えてきた。そして、四叉路に到着。15時からの集会に参加するため、ここから大浦登山口へと下りることになった。少し下った所に「弘法大師のお堂」があった。この登山道は、国道250号線が開通していない時には相生と室津の間の交通路になっていたそうだ。14時20分、全員無事、国道250号線大浦登山口に下山した。そのころには雨もすっかり上がり、ほっとした気持ちで雨合羽やスパッツを脱いだ。汗と泥にまみれた衣服や雨合羽、スパッツ、それに何とも言えない満足感が、頑張ったご褒美だった。

漁港では、集会までの間に新鮮な魚介類をいっぱい買い込んで、また満足。そして、始まった交流集会。山を開かれた方や、漁協の方、観光協会の方の話に続いて各会の紹介があり、最後に労山会の方の話があった。山を



開かれた方の話では、仕事の合間を縫って、3～4年かかって開かれたということだった。どこもよく整備されていた。私たちがこうして楽しく歩かせて頂けるのもこういう方々のおかげがあってこそだと痛感し、感謝の気持ちでいっぱいになった。春は、柏の方から登るとツツジが綺麗という話もあったので、機会があれば是非行ってみたいと思った。そして今回当初計画されていた柏までのコースの縦走をやり遂げてみたいと思った。観光協会の方の話では、室津というのは奈良時代からの港で、1300年の歴史がある。行基が開いた5つの港の内の一つで、江戸時代に最も栄えていた。殿様は室津街道、鳩ヶ峰を通して山陽道に出ていたということであった。人々と賑わう往時の漁港や街道などの様子が目に浮かぶようであった。各会の紹介では、HCはりま、明石山の会、姫路山の会、はりま山岳会などの方々と共に、メンバーや活動内容などを紹介し合った。

最後に、労山会の方が、「自然を大切に。そして仲間を大切に。自分の会を好きになってほしい。」と話された。入会して間もない私にとっては、このお話が、今日の山行、交流会の良いしめくりとなった。これからも山を愛する多くの方々と仲良く楽しく活動し、いろんなことを学んでいきたいと思った。そして、いつか自分の学んだことが誰かに伝えられるような時がくればいいなと思った。

お世話になった方々、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

## ★ 御津アルプス縦走・播磨地区山岳会交流会に参加して 西村

平成20年10月26日 あいにくの曇り空、朝から雨が降ったのか地面はぬれている。以前の天気予報では良かったのに……。バスは、午前7時20分、予定通り、高砂市総合運動公園を出発しました。私にとって、7月の三の峰終了山行以来のバスに乗っての登山です。はじめての御津アルプスはどんな所かな、ワクワク、でも、団体の登山とあって、少々緊張していました。緊張がとけないうちに、岩見登山口付近に到着、いつものように、ストレッチで、体と緊張した心をほぐしました。

砂川会長さんより「道がぬれているから、スパッツを持っている人はつけてください。」との言葉、私も徐々にスパッツをつけ、身支度を整えました。

さあこれで万全、A班、続いてB班も出発です。自動車道を少し歩くと、「御津山脈縦走路 Y山 登山口」の案内板があり、登山道へと入る。

いきなり急な登り、道は細くぬかるんでいる、雑木林の中を進む。ロープを張った岩場があり、慎重に登っていきました。登山道をよく見ると刈られて間がない笹等が散らばっていました。



今回の交流ハイキングのためにしてくださったのかな、ありがたく思いました。

Y山(251.9m) (どうしてY山というのかな)に到着、小休止、Z山を目指す。途中、またロープがある急な下りがありゆっくりと下って行きました。小雨が降り出し、カップの上着のみつける。雑木林の中を登り、Z山(228m)に到着です。頂上は岩盤で展望がよく、播磨灘をしばし眺め、あそこが家島だと教えてもらいました。また、雑木林を進み嫦娥山(265.8m)そこを鋭角に曲がって下って行くと

鳩ヶ峰(108m)、峰を想像していたのに峠でした。「室津街道入口」と「御津山脈縦走路 嫦娥山 登山口」の表示板があった。かなり良い道がついていました。ここで昼食タイム、小雨の中、なるべく雨のかからない所を選んでお弁当を頂きました。しばらく休んで、さあ、いよいよ御津アルプスの最高峰 雄鷹台山へ出発です。しばらく進むと目の前に大きな山が……。大変だなあと思いながら一歩一歩急な登りを登っていくと平らな大岩があり展望台を過ぎると雄鷹台山(310.6m)に到着です。小雨も止み、何と

なく明るく感じました。予定を変更して、南へ下り大浦登山口に下山するとのこと、あとはほとんど下りだよ、登っても少しだけという言葉にほっとしました。最近私は、山に登って下山するときに転倒しないを目標にしている。以前は転倒しても気にしないでいましたが、転倒が大きな事故につながると教えていただき、特に気をつけています。四叉路を南に下り弘法大師のお堂の前を通り、大浦登山口へ、この道もなかなか変化に富み良かったです。室津漁港では魚々市で新鮮な魚を買い、後は市場のせり場で、姫路山の会の吉見さんの司会で交流会が始まりました。まず、御津アルプスのコース開拓者の高島さんのお話・・・御津山脈は海に近く、岬、島あり、半島あり、港がありすばらしいところ、でも、道がない。仲間とともに10月から4月5月ごろまで3年から4年がかりで開拓されました。長いコースなのに大変だっただろうと感銘を受けました。続いて、漁業組合長 中川さん・・・組合員125名・年商8億円、かき、わたりがに、アサリ、さわら等々、平成15年から魚々市をされているとの事でした。観光協会の榎山さん、室津は奈良時代からの港、1300年の歴史がある港町と教えていただきました。各山岳会の紹介では、明石山の会・ハイキングクラブはりま・はりま山岳会・高御位山遊会・姫路山の会、それぞれ大勢の会員数で歴史があり、活発な活動をされているようですばらしいと思いました。特に、わが高御位山遊会は特に活発だと再認識いたしました。勤労者山岳連盟の喜多理事長さんからは、山らしい山に登りましたとの感想があり、交流会を大変喜んでくださっていたように思いました。交流会も有意義に終わりました。バスの出発まで時間があつたので、ほんの少し室津の町を散策しました。石畳に歴史を感じ、身も心もすっかり温まりました。午後5時、バスは高砂市総合運動公園に向けて出発しました。

御津アルプスは、俗化されず、長い岩場があったり、海辺で、島あり、半島あり変化に富んだ景色が楽しめ、とても贅沢なところだと思いました。今回は山岳会との交流会や室津のことを知ることが出来、有意義な一日でした。砂川会長様はじめご尽力いただいた皆様有り難うございました。入会して初めて感想という役が当たり、不慣れで困りました。記録等していなかったもので、不確実なところがあります。お許してください。



## ちょっと一言 (女性委員会・六甲森林植物園)

光栄にも熟女のお仲間に入れて頂き、お天気も最高の青空の中、おしゃべり一杯おやつ一杯森林浴一杯の楽しい一日でした。

もちろんお勉強も、お料理講座に、山の会ですからツェルトの使い方ロープとカラビナの扱い方を教えて頂きました。

山の中でビバークをしたりロープで岩場を降りたり実際に経験された話をきいてそういった山に自分も行けるようになるのか…なあ？うれしいような怖いような…

この日、主人も氷ノ山から帰ってきましたのでお互いに山の話で、盛り上がり（ほとんど私の失敗談ですが）来年は一緒に行こうと誘ってくれました。

山はいいですね～夫婦円満の秘訣でもあります。 尾越

## ちょっと一言 (播磨地区山岳会交流ハイキング・御津アルプス縦走)

「小雨は残念でしたが、南に瀬戸内海、北は雲海に浮かんだ山並みと、木立の切れ目から見える美しい景色をながめながらの良い山行でした。嫦娥山の分岐点を見過ごしたことで道を間違え、1時間ほどロスをしたことは注意せねばと、怖さを痛感しました。」 藤田



## 会員だより

★トライやるに初参加しましたが、漕艇は初体験。前から一度漕艇をしてみたいと思っていましたが、今回乗れる機会に出会えて、嬉しさ半分、不安半分でした。2回乗せてもらい面白くて青春時代に帰った様な感動で、私自身が大いに楽しんでしまいました。果たして指導ボランティアになっていたのかな？ (K, O)

★この言葉には、何処で出会ったのだろうか！

随分前から薄紅色の画紙に大きな黒文字で記しており、それは居間の壁にかかっている。 川鶴

### あとからくる者のために

あとからくる者ために 苦勞をするのだ 我慢をするのだ

田を耕し種を用意しておくのだ あとからくる者ために

お前のいまがある

あとからくる者のために 山を川を海をきれいにしておくのだ

あとからくる者のために みなそれぞれの力を傾けるのだ

あの可愛い者たちのために 未来を受継ぐものたちのために

みんなそれぞれ自分でできる 何かをしていくのだ

〈 詩人 坂村真民〉